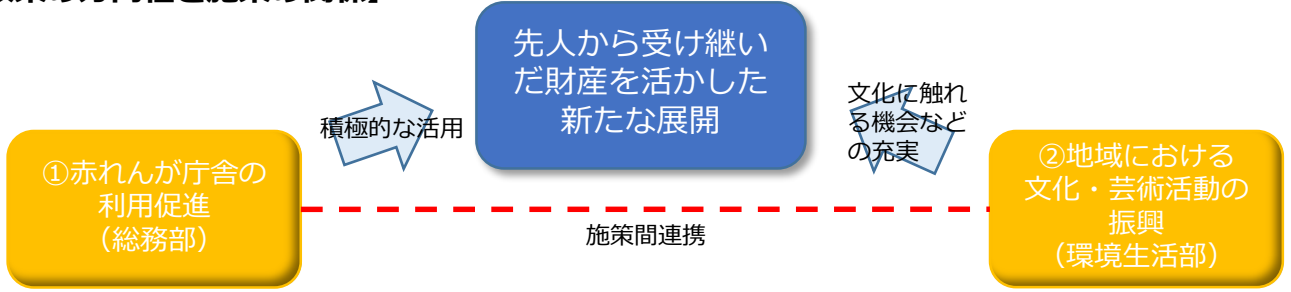


3 分野：人・地域
 (4) 政策の柱：ふるさとの歴史・文化の発信と継承
 B 政策の方向性：先人から受け継いだ財産を活かした新たな展開

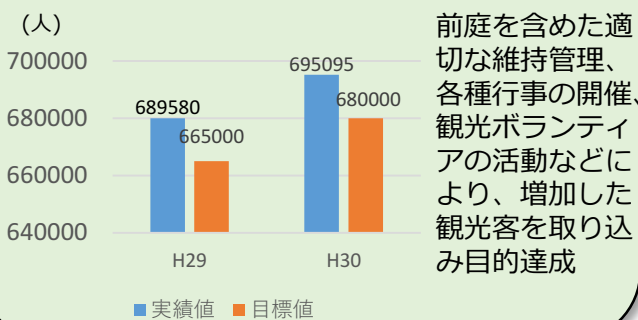
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①赤れんが庁舎の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 重要文化財である「赤れんが庁舎」について、様々な活用が期待されている事 昭和43年に復原改修を行って以来、建物や設備の老朽が進んでいるほか、耐震対策やバリアフリーなど改善すべき課題あり 	<ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎の改修工事を実施 民間ノウハウを効果的に発揮できる管理運営内容を検討 リニューアルに関するパネル展の開催等により、道民の機運醸成を図る 	概ね順調に展開
②地域における文化・芸術活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められる 本道の歴史や芸術文化などを道内外に発信する取り組みを推進することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎の発信拠点としての機能充実 功績の顕著な者に賞を贈って表彰し、文化の普及振興 文化・芸術活動における人材の発掘そのほか6つの取組 	概ね順調に展開

【総合計画の指標】

赤れんが庁舎入館者数（人）（施策①②）



【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

<総合計画施策推進状況>